議員全員協議会

日 時	令和元年 6月18日（火） 開会中	10時53分 開会 11時19分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 太田佳晴 副議長 15番 鈴木千津子	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	7番 大井俊彦	8番 名波喜久 9番 植田博巳
	10番 村田博英	11番 良知義廣 12番 澤田隆弘
	13番 中野康子	14番 大石和央
欠席議員		
事 務 局	局長 植田 勝 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 北原 大輔	
説 明 員	市長、副市長、教育長、政策理事兼企画政策部長、総務部長、政策監 福祉こども部長、子ども子育て課長、保育園民営化推進室長 民営化推進係長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（太田佳晴君）

それでは、本会議一般質問のほう、お疲れさまでした。
ただいまより、議員全員協議会を開きます。

2 市長報告（1） 小規模保育所「木華（このはな）保育園」の職員大量退職 について

○議長（太田佳晴君）

昨日晩、議会のほうへ急遽連絡が、小規模保育施設木華保育園の職員大量退職についてということ、連絡がありました。

議員の皆様には、取り急ぎメールにて対応を連絡させていただきましたけれども、その件につきまして、市長より報告がありますので、お願いします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、昨日議員の皆様にもメールでお知らせをさせていただきました、小規模保育施設木華保育園の職員の大量退職についてということですが、昨日、議会事務局から議員の皆様にも事前に連絡させていただきました案件でございますが、木華保育園の職員が大量退職ということをお知らせさせていただいたところであります。

資料にも掲載してございますが、この木華保育園は平成29年度に開設した小規模保育施設木華保育園でありまして、職員の6人中5人が退職届を提出し、当園は6月13日から運営できない状況になっているという報告がありましたので、議員の皆様にお知らせをさせていただいたところであります。

入園中といいますか、就園中の園児につきましては、今すすき幼稚園に移して保育難民は出ていないという状況でございますので、お知らせをさせていただくとともに、詳細は担当課から説明させますが、保育園内部のこととして、議員の皆様にはこうした事態、お知らせはさせていただきますが、とりあえず議員の皆様のお耳に聞きとどめておいていただいて、いろいろなところへの公表というのは、少し差し控えていただければありがたいなと思っております。

最終的に、今、静岡新聞の相松さんもいらっしゃいますが、記事になるかというのは、少しまだ疑問なところがあるということですので、今後、また詳細がわかり次第、お知らせはさせていただきますと思います。

では、担当のほうから。

○議長（太田佳晴君）

子ども子育て課長。

○子ども子育て課長（河原崎貞行君）

ただいま、市長からも説明ありましたけれども、重複します点がありますけれども、説明のほうをさせていただきます。

平成29年度に開設しました、小規模保育施設木華保育園の職員6人中5人が6月中旬に退職届を提出しまして、この園は6月13日木曜日から運営できていない状況でございます。

今回の大量退職の要因でございますけれども、運営主体の学校法人青山学園の運営方針と木華保育園の職員の運営方法等の違いにより、職員が保育を実施することに違和感を感じていたということで、そのような形の中での退職というふう聞いております。

なお、現在入園しております児童の、下のほうに書いてありますけれども、利用者9名おりますけれども、その者たちの6月中の保育ですけれども、この4月から幼保連携型認定こども園すずき幼稚園で6月中は全員対応するというふうに、法人のほうは話しております。

7月からの保育ですけれども、保護者の意向のほうがございますので、こちらのこども園すずき幼稚園に残るもの、あるいは転園する者というふうな状況は出てきますけれども、全て、今のところ対応可能というふうな状況で、待機者等が発生しておりませんことを、ご報告のほう、させていただきます。

施設の概要につきましては記載のとおりで、こちらの施設は入園対象のところに書いてありますとおり、ゼロ歳、おおむね8カ月のお子さんから3歳未満の児童が利用する施設ということで、定員は18名の施設でございます。

入園者数としまして、6月現在で、利用者9名が在園しておりました。うち、市内の利用者が8名ということです。

3番の職員の状況ですけれども、6月現在、園長を含め6名が在職しておりましたけれども、5名が退職届を出して、冒頭言ったように、運営できていない状況ということでございます。

以上。

○議長（太田佳晴君）

報告は終わりました。ただいまの件について、質問はありますか。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

内容はよくわかりました。懸念するところというか、追加でお聞きしたいんですけど、この幼保連携型認定こども園すずき幼稚園に残るといふか、移動するんですよね。厳密に言うと。移動する者で対応されているということなんですけど、園児さんを見る、乳幼児さんを見るというのには、歳児における人数要件がありますよね。保育士一人に、ゼロ歳児だったら3人までと。それはきちんと枠にはまっているのか。言ってみれば、対応できるだけの余裕があったということなのかというのが1点と、あと、これってあくまでも現状の説明でしかないわけですよね。今後の、

この施設だって、ある程度税金が投入されているので、今後、どういうふうにされていくのかというの、現時点でわかっている範囲で結構なので、どういうふうな話し合いがされているのかお聞かせください。

○議長（太田佳晴君）

民営化推進係長。

○民営化推進係長（板倉義樹君）

まず、職員要件ですが、職員要件、小さい園児ということでゼロ歳児は園児3人に対して先生一人。1、2歳児は園児6人に対して先生一人というような配置なんです、その配置上は、すすき幼稚園においても認可上の人数は満たせるように配置をすると聞いています。

面積要件に対しても、面積上にも違反のないような形で対応すると、6月については対応が可能と聞いております。

すすき幼稚園の今後について、法人がきょうの朝、市のほうに説明に来まして、すみません、木華保育園についても、職員採用のめどが立ったので、7月から再開したいと法人のほう、報告に来ました。なので、再開ができる見込みと聞いています。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

以前、はっきりとオフィシャルで話が出ていたわけではないと思うんですけど、木華保育園って、もともとはどちらかというと行政サイドからのオーダーでできたというふうな話を以前聞いたことがあると思うんですよね。そういった意味では、待機児童ゼロを目指して、質の高い保育環境を目指すという意味でつくられたと思うので、かかる事態になったというのは、非常に残念だなと思うんですけど、こういったことが、人と人とのことなので、どこまで指導ができるかというのはちょっと難しいところではあるんですけど、今後こういったことがないような、どういう改善をされるのか。職員採用のめどが立ちましたよと、またそうなってしまったら意味がないですよ。別に、指導すると言って強い言葉じゃなくていいんですけど、どういう形で今後は再発防止をされるのかということは、話し合われたのか、これから話し合われるのか。

○議長（太田佳晴君）

子ども子育て課長。

○子ども子育て課長（河原崎貞行君）

きょうの朝、法人の理事長、あと執行部の方も来まして、今、平口議員から質問があったのと同じ内容を、自分からも質問しました。やはり、保育をしていく中でもそうですけど、運営側と職員側というような立場に立つと、職員側からは余り言えないこともあるよというふうなことの中で、運営側がかなり気を使ってやらないと、当然保育士は就職もできない状況にもありますし、退職してしまうと。今回のような状況にもなってしまうと。そういったところで、ある程度、もう1回法人の運営側として、今後の方針等も考えて採用のほうもしてもらいたいし、今後の運営

ももう一度考えて、いろんな反省文というような形ではないんですけども、今回の起きた事情、あるいは今後の方針というのを文書のほうで提出してほしいというような要請はしました。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問はありますか。

濱崎議員。

○2番（濱崎一輝君）

この木華保育園を運営している青山学園と、すすき幼稚園ですね、この関連性とかというのは、特別な関係性というのはあるんですかね。近くの、例えばこの地域の児童を預かるにはちょうどこのすすき幼稚園がいいという認識でここの幼稚園に頼んだのか、その経緯も含めてちょっと教えてもらいたいんですけども。

○議長（太田佳晴君）

民営化推進係長。

○民営化推進係長（板倉義樹君）

学校法人青山学園が小規模保育施設木華保育園とともに幼保連携型認定こども園すすき幼稚園、両方とも運営しています。

小規模保育施設を開設するときに、連携先、何か困ったときの対応をしてくれる施設を契約で見つけなければならないんですが、その小規模保育施設木華保育園の連携先としても幼保連携型認定こども園すすき幼稚園が設定されていますので、今回、木華保育園において保育を行うことが、なかなか難しくなったよということで、連携先として幼保連携型認定こども園すすき幼稚園が、その契約によって助けたような形になります。

○議長（太田佳晴君）

濱崎議員。

○2番（濱崎一輝君）

わからなかったんだけど、全然。すすき幼稚園さんがやっているの。

○民営化推進係長（板倉義樹君）

法人としましては、両方とも同じ法人になります。木華保育園が今回保育ができないので、すすき幼稚園さんが保育を行っているような形になります。

○議長（太田佳晴君）

福祉こども部長。

○福祉こども部長（大石弘子君）

先ほど、小規模保育施設木華保育園をお願いするのに、牧之原市のほうからお願いしたということでお話があったと思うんですけども、私たちその辺が、そういう認識はなくて、いろいろ子ども子育て計画とか、そういったので、小規模保育所がこれから必要になる、待機児童が出る可能性がある。人口推計が、生まれる子が最近では下がっているんですけど、その当時はまだ横ばいだったりすることで、このままいくと足りなくなるよというような予想があったので、相良幼

稚園をこども園化するとか小規模保育所が2カ所くらいほしいのではないかと、そういうふう
に待機児童対策を考えている中で、すすき幼稚園さんのほうから提案があったというふうに私た
ちは聞いております。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問は。

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

今後、文書で状況を報告ということだったと思うんですけれども、青山学園のほうだけのサイ
ドで意見を言うと、それは一方的になるでしょうし、こちらのやめた保育士さん、それはなかな
かもうやめちゃったんだから聞けないのかどうかあれですけれども、その辺、つかんでいないと、
来月から再開するということなんですけど、そこ、なかなか難しいんじゃないかなというふう
に私なんか思うんですけれども、その辺はどうなんでしょうね。

○議長（太田佳晴君）

子ども子育て課長。

○子ども子育て課長（河原崎貞行君）

その点も当然ございましたし、静岡新聞さんも、きょう、後ろにいますけれども、静岡新聞さ
んからも、元いた職員の話を聞きたいということで、きのう夕方なんですけれども、一応、元
いた職員の意見も聞いたということでもあります。

双方、確かに言っていることは、今となってはいろいろな思いがあるので、どちらがいい、ど
ちらが悪いということはできないんですけれども、そういった、職員とすると、保育園を運営し
ていく保育の都合というか、こういうふうに運営していきたいよという思いがある中で、法人と
してはこういうふうなスタンスですよというところが合致しなかったというところが、一番の問
題かなというところでの、今回のこのような状況というふうに聞いております。

○議長（太田佳晴君）

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

法人は、ある面で営利的な面もだって、全然ないわけじゃないですよ、いくら保育園でも。
こちらは、保育士さんのほうは、純粹に子供たちに十分な保育を提供しようという、そういう気
持ちでやっていると思うんですよ。その辺、はっきり、いろいろ分析してやらないと、また繰
り返されるんじゃないかということもあるものですから、その辺をお願いしたいと思います。

ここは18人の定員で9人だったんですよ、利用者が。昨年でしたか、開園したのは。おとと
しね。2年たって、少し定員があれですけれども、50%の充足というか、そんな感じですがれ
ども、その辺もだんだん改善しなくてはならないかなというふうに思います。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問はありますか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

待機者は発生していないということで安心はいたしておりますけれども、一応、木華保育園というのと、それから幼保連携型認定こども園すすき幼稚園とは保育時間がちょっと違ってくると思うんですけれども、その辺のほうは、親御さんに対する対応というのは大丈夫なんでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

民営化推進係長。

○民営化推進係長（板倉義樹君）

木華保育園についても、基本的には11時間運営してまして、今回、幼保連携型認定こども園すすき幼稚園についても、認定こども園化したことにより、最低11時間の運営はするよう形になりましたので、その点で、保育時間について保護者が困るということはありません。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、この件は以上といたします。

3 議会運営委員会の報告

議会の委任による専決処分について

○議長（太田佳晴君）

続きまして、3番の議会運営委員会の報告ということなんですけれども、きょう、議案第37号が上程されました。これは、平成24年8月にい〜らで転倒による事故が起こりまして、その損害賠償また和解に当たり上程されるものなんですけれども、今回の事実において、損害賠償が発生した場合は、全て議会の議決に付する必要があると、金額の大小にかかわらず、その必要があるということと判明しました。

それに伴いまして、今後、市長の専決事項の指定をすれば、その都度議会を開催しなくても可能だということで、そこまでは全協の報告の中で、局長の説明により、皆さんに報告がしてあります。

その件につきまして、どのようにするかということで、議会運営委員会において協議しましたので、まずは議会運営委員長から議会運営委員会での審議について、報告をしていただきたいと思っております。

議会運営委員長。

○議会運営委員会委員長（大石和央君）

議会運営委員会報告というふうになっておりますけれども、詳細の説明というのは事務局のほう

から、このようになりますということで、後から説明をいたしますけれども、そもそも、先ほど議長のほうから、なぜこうした専決処分にかかわる議会の議決によって指定をしていくのかということについて、若干説明をしたいというふうに思います。

そもそも専決処分というのは、地方自治法、皆さんもご存じのように、179条に基づく専決処分と、今回出ていました、専決処分が出ていたんですけれども、その議会を開くことができないので専決をしたというようなことと、それからあと、同じく法の180条というものに基づく専決処分というものがあるわけなんですけれども、今回は180条に基づくものを皆さんで決めていくというものであります。

これは、軽易な事項で議会の議決によって指定するものでありますけれども、これはそもそも、委任専決処分という形になりますので、議会が持っている議決権といいますか、権限を制限していくというものにつながってくるものであります。

こうした中で、軽易なものについて、そのたびに臨時会等を開いていくということは、非常に議会運営上、無理があるということがありまして、この指定をするということになるわけであります。

これに基づきまして、議運では、では具体的にどのような項目を決定していくのかということで、いろいろと議論をしてきました。そこで、これから説明がありますようなことを、議運としては決定をいたしましたので、皆さんでそのあたりのところを諮っていきながら決めていきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

それでは、協議の前に今、議運の委員長から報告がありましたけれども、その件につきまして、質問がありましたら、お願いします。

よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

4 協議事項 （1） 地方自治法第180条の1項の規定に基づく市長の専決事項について

○議長（太田佳晴君）

それでは、4番の協議事項ということで、ただいま議運の委員長から説明のありました、地方自治法第180条第1項の規定に基づく市長の専決事項についてということで、事務局より説明をお願いします。

事務局次長。

○事務局次長（原口みよ子君）

少し説明をさせていただきます。議長から、あと議運の委員長よりお話がありましたように、地方自治法第180条第1項により、市長が専決処分できる要件といたしまして、議会の権限に属

する軽易な事項でそれを指定したものであるということとされています。

軽易な事項としてという、明確な定義というのではないようなんですけれども、今回のように上限を決めた損害賠償額とか、訴えの提起、和解、調停とか、そんなものが考えられます。それにおいて、執行側のほうから、今回案というもので示されたものがあります。近隣の状況等も考慮した中で、交通事故以外の賠償額としましては、100万円以下、それと和解に関する事。

交通事故におきましては、自動車損害賠償保障法等によりまして支払われる、保険で支払われる限度額を基準としたものであるということと、1点目と2点目と、そのように、その2点について指定していただければというようなことで案をいただきました。

この指定は、今回、定例会最終日にもし上げていただければ、その議決の日から適用していくということと。

1枚、近隣の状況ということで、西部地区とかになるんですけれども、そちらのほうの金額等が一覧になってつけさせていただきました。

それで、この第180条第1項に基づいて専決をしましたら、市長のほうで、もし専決処分を行った場合には、本会議において報告しなければいけないということになっておりますので、議会のほうには、必ず報告があるということになっております。

以上になります。

○議長（太田佳晴君）

今、次長のほうから説明していただきましたけれども、ご意見、質問等ありましたらお願いします。

これについて、最終日議員発議ということで皆さん承知すればなるんですけれども、もし、全会一致ということになれば、その方向でいきたいと思っておりますけれども、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、この件に関しましては、議員全会一致ということで、お願いいたします。

4 協議事項 （2） 議員発議 提案者について

○議長（太田佳晴君）

2番の議員発議、提案者についてですけれども、最終日の議員発議の提案者については、慣例によりまして副議長にお願いできればと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

では、副議長お願いします。

それでは、きょうの協議事項は以上です。

事務局、何かありますか。

それでは、以上で議員全員協議会を終了します。ありがとうございました。

[午前 11時19分 閉会]